

MONTHLY NEWS LETTER

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

ビジネスと投資に役立つマンスリーニュースレター

10

October | 2025

高橋FPの社長が知りたいお金の話

遺産の分け方は二次相続も視野に入れて

海外経営者列伝

ウォーレン・バフェット

データと画像で考える、未来の世界

ロボタクシー

10月の主要経済カレンダー

米FOMC、金融政策決定会合、ECB理事会ほか

マネークリップ

高値更新の米国株、死角はあるか？

アジアの世界遺産

南漢山城



写真:ロイター/アフロ

逆張りとお金の重み ——

バークシャーが見る、米国株市場

8月に公開されたバークシャー・ハサウェイのポートフォリオ。ウォーレン・バフェット氏のCEO退任発表後の最初の公開とあって、注目を集めた。今月はその内容について見ていきたい。

2025年はまだ3カ月残っているが、おそらく株式投資関連の10大ニュースとして取り上げられそうなのが、ウォーレン・バフェット氏のCEO退任発表。例年5月にミネソタ州オマハで開催されるバークシャー・ハサウェイの年次株主総会で年内にCEOを退き、後任にはグレッグ・アベル氏が就くことを公表。8月に公開された同社の保有有価証券報告書(6月末時点)は、「バフェット後」を予想する手掛かりとして注目された。保有株式上位の銘柄はこれまでと同じだが、アップルなどの持ち高が減っている。

逆風の2業種に新規投資

確認しておきたいのは、新規組み入れの銘柄だ。一つはユニテッドヘルス・グループ。バークシャーが持ち高を増やしたことを受け、株価は急伸した。トランプ政権は薬価を先進国で最低の水準に引き下げを求めるなどの政策を打ち出しており、ヘルスケアセクター全体に逆風が吹いているようにも見える。ただし、薬価抑制の主なターゲットは製薬企業であり、医療保険会社は比較的、制度変更



に柔軟に対応できる立場にある。同社は、2024年12月の銃撃事件や高齢者向け保険の医療費負担増加による今期計画の撤回、CEOの交代などの個別要因で株価が下落していた。米国最大級の医療保険会社で一連の事件が起こるまでは、高い成長力を見せており、割安と判断されたものと見られる。

もう一つが住宅関連。米住宅建設・販売大手のレナーについて、従来から保有しているB株に加えてA株を追加購入した他、住宅建設のDRホートン、住宅向けドア・電子錠などを手掛けるアレジオン、建築向け構造材も手掛ける電炉のニューコアなどの株式を新規に取得している。不動産や住宅関連も決して順風満帆には見えない。住宅ローンの金利は高止まりが続いており、関税の影響で建築資材のコストが上昇することも懸念されている。一方で、これらの悪影響を織り込んだ結果、割安な水準に据え置かれている銘柄も多い。米国では住宅の供給不足が慢性化しており、それが価格の高騰、需要の後退を招くという悪循環に陥っていた。しかし、7月の中古住宅販売もコンセンサス予想を上回るなど、少し明るい兆しも見られはじめており、本格回復につながるかは注目したいところだ。

銘柄より気になる？ 現金保有の積み上がり

このようにパークシャーの方針は、保有株式においては「逆張り」的な投資行動となっており、AIブームとは距離を置いているようだ。それよりもむしろ注目点は、株式以外との指摘もある。現金ならびに現金同等資産の保有高は、昨年大幅に引き上げられて以降じりじりと増加し、3,500億米ドルに迫る水準となっている。ちなみに年次株主総会でこの現金保有高の増加について質問されたバフェット氏は、「良い案件があれば、1,000億米ドルでもすぐに投資する。しかし、機会は均等に訪れるわけではない」という旨の発言をし、はぐらかしている。しかし、現金の積み上がりと歩調を合わせるように自社株買いも停止しており、いまの米国株市場を割高と評価し、慎重な姿勢をとっているように見受けられる。

＊

「他人が貪欲になっているときは恐れ、他人が恐れているときは貪欲になれ」。この言葉は、バフェット氏が市場心理に対して冷静な判断を下す際に繰り返し引用するものだ。今回のポートフォリオにもその姿勢が反映されているように見える。もちろん、ここで開示されているのは「誰かの」「過去の投資判断」であって、「自分の」「現在の状況」にマッチするとは限らない。それでも、知っておくことは重要だろう。当社では、今回ご紹介したポートフォリオなど、個人投資家が知っておくべき情報を日々レポートにまとめて発信している。運用戦略を考える材料として、活用してみてはどうだろうか。



■ 図表1 パークシャー・ハサウェイの
ポートフォリオの上位10銘柄（2025年6月末時点）

ティッカー	銘柄	期末保有株数(万株)			構成比率
		2025年3月末	2025年6月末	増減	
AAPL	アップル	30,000	28,000	-6.7%	22.3%
AXP	アメリカン・エクスプレス	15,161	15,161	0	18.8%
BAC	バンク・オブ・アメリカ	63,157	60,527	-4.2%	11.1%
KO	コカ・コーラ	40,000	40,000	0	11.0%
CVX	シェブロン	11,861	12,206	2.9%	6.8%
MCO	ムーディーズ	2,467	2,467	0	4.8%
OXY	オキシデンタル・ペトロリウム	26,494	26,494	0	4.3%
KHC	クラフト・ハインツ	32,563	32,563	0	3.3%
CB	チャブ	2,703	2,703	0	3.0%
DVA	ダビータ	3,514	3,380	-3.8%	1.9%

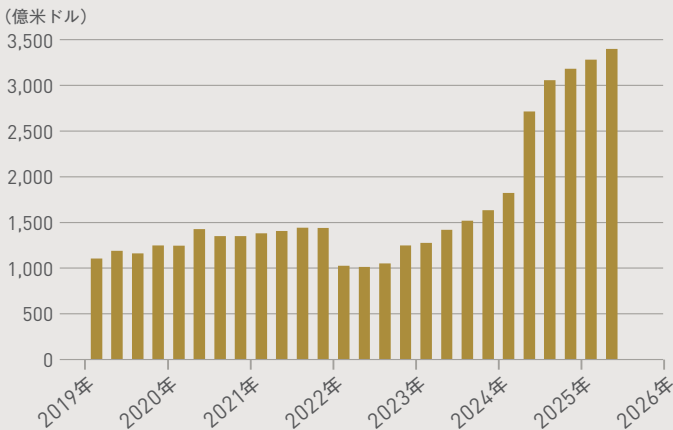
■ 図表2 保有株数が増えた銘柄（図表1の掲載銘柄以外）

ティッカー	銘柄	期末保有株数(万株)			構成比率
		2025年3月末	2025年6月末	増減	
STZ	コンステレーション・ブランド	1,201	1,340	11.6%	0.8%
UNH	ユナイテッドヘルス	—	504	新規	0.6%
DPZ	ドミノ・ピザ	262	263	0.5%	0.5%
POOL	プール	146	346	2.4倍	0.4%
NUE	ニューコア	—	661	新規	0.3%
LEN	レナーA株	—	705	新規	0.3%
HEI	ハイコ	116	129	11.4%	0.1%
DHI	DRホートン	—	149	新規	0.1%
LAMR	ラマール・アドバタイジング	—	117	新規	0.1%
ALLE	アレジオン	—	78	新規	0.0%
LEN/B	レナーB株	15	18	18.6%	0.0%

※図表1、2の保有株数は全て2025年6月末時点の保有有価証券報告書(13F)ベース。構成比率は13F記載の2025年6月末の保有銘柄の総額に対する比率。なお13Fの開示対象は米国上場企業のみで、全保有銘柄が開示されているわけではない

(出所)会社資料をもとに当社作成

■ 図表3 現金・現金同等資産の推移



※四半期ベース、米国短期国債を含む、直近値は2025年Q2(第2四半期)

(出所)会社資料をもとに当社作成